

令和7年度第1回小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議 まとめ

【日 時】令和7年7月9日(水)10:00~11:30

【会 場】金津地区コミュニティセンター 和室

【出席者】

金津コミ協:山崎副会長(代理)、小須戸コミ協:木村会長、小合地区民児協:古田会長、田村副会長、

金津地区民児協:長谷川副会長(代理)、舟戸1, 2自治会:石井副会長、長寿樂:馬場さん(代理)、

包括こすど:木村センター長、秋葉区健康福祉課高齢介護担当:吉井副主査

秋葉区社協:秋山事務局長補佐、地区担当:岡村 SC、吉田 SC

1 今年度の取り組みについて

(1) サロン交流の課題への取り組みについて

① サロン情報交換会について、どんな内容の情報交換の内容だと話しやすいか

構成員が考える「参加したくなるサロン(茶の間)」とは

- ・子どもや若い人とつながり、楽しみが感じられる。
- ・健康維持・介護予防につながり元気になれる。
- ・ためになる制度やサービスなどの情報を知ることができる。
- ・孤独にさせず、普段から参加者同士で見守りができる。
- ・タクシーや助け合いで送迎してくれる。

魅力あるサロン(茶の間)にするためには

- ・担い手を増やそう！
- ・参加したい人が安心して来ることのできる移動手段を考えよう！
- ・参加したくなるような内容を考えよう！

今年度のサロン情報交換会について

- ・昨年度サロン情報交換会を初開催したが、今年度も開催を望む意見が多かった。
- ・交流することで他のサロンの良いところを真似する良い機会である。
- ・サロンの交流や情報交換により各サロンの現状を共有し、課題解決の場として活かすことができる。
→R7 年度もサロン情報交換会を開催する。

話し合うテーマ(案)

- ・継続したサロン運営について。
- ・担い手が不足していることから、新たな人材の育成、人材集め、参加しやすい活動など、担い手を増やす取り組みについて共有する。
- ・参加したいと思っている人や遠方の人が気軽に来られるような、サロンへ誘うときの工夫や送迎し合える関係、移動手段を考える。(新潟市が実施している幸齢ますます元気教室は送迎があるので非常に人気である)
- ・魅力あるサロンの内容で男性の参加も増えるように検討する。

情報交換会の工夫・取り組み

- ・情報交換会では参加者から各団体の名刺を交換することで、互いに連絡や交流し合えるようにつなげていく。(名刺は主催者側で用意をする)

今年度の情報交換会開催について

- ・開催時期は10月下旬～11月上旬ごろを予定。
- ・企画については、昨年度の検討委員を中心に構成員から選出して、今後詳細を決定していく。
- ・集いの場を開催している高齢者クラブや老人クラブもある。同じ悩みや課題を抱えているのでサロン情報交換会の対象団体として案内してはどうか。

② 他地区へのサロンの見学交流について、どのようにすると交流しやすいか

- ・参加者全員で行くのは移動手段がないと難しい。まずは代表者が他のサロンを見学に行く。
- ・モデルハウスである「だんだん・島岡」を見学して参考とする。
- ・コミ協としてサロンの視察に行く形だと参加しやすかった。
- ・情報交換会等を活用して、積極的につながりをつくる。

(2)支え合いのしくみづくりの周知について

- ・支え合いのしくみづくり推進員が、地域の茶の間やサロン、自治会、老人クラブ等で支え合いのしくみづくりについて出前講座も行えるので、積極的に声をかけてほしい。
- ・様々な関係団体が地域の茶の間やサロンを拠点として活用することで、団体についての紹介や取り組みの周知を行うことができる。また、参加者も日頃から有益な情報を得ることができる。
- ・地域の茶の間やサロンを今後ももっと地域で広めていく。そのことが自ずと支え合いのしくみづくりの周知にもつながる。
- ・引き続き、各所属でも支え合いのしくみづくりについての周知や啓発をお願いしたい。

2 その他

- ・「サロン」はわかりにくいので、他のネーミングや「サロンとは」の定義を説明書きしてはどうか。
- ・構成員も新規メンバーを入れるなどして活性化してもよい。
- ・各団体のつながりを活発にすることも、この会議の役割である。この会議に出席できない場合は、所属内から代理を出した方がよい。
- ・「地区社協」がわかりにくいので、見える化してほしい。